

うるま市統計書

平成23年版



沖縄県うるま市

うるま市の位置





うつらま市民憲章

うつらま市は、豊かな自然と先人たちの築きあげた文化と伝統を大切にすゝる、希望にみちた健康都市です。私たちは、このまちを愛し、おたがいの幸せを願ひ、ここに憲章を定めます。

- 一 すこやかで、心のかよう家庭と、思いやりのあるまちをつくります。
- 一 自然を生かし、花とみどりに包まれた、きれいなまちをつくります。
- 一 きまを守り、ものを大切にすゝる、住みよいまちをつくります。
- 一 働くよろこびと、若い力の育つ、元気なまちをつくります。
- 一 教養を高め、文化のかおり高い、魅力あるまちをつくります。

平成十九年三月六日 制定

は し が き

平成23年版「うるま市統計書」をここに刊行いたします。

本書は、「人と歴史が奏でる自然豊かなやすらぎと健康のまち」の実現を目標とするうるま市の自然、人口、経済、文化など各分野にわたる基本的な統計資料を総合的に収録し、市勢の現況及び推移を明らかにしようとするものです。

この統計書が行政上の利用だけにとどまらず、企業経営の計画立案や学術研究の基礎資料として、さらには市民生活向上の指針としてご利用いただければ幸いです。

編集にあたっては、逐次資料の選定、内容等の検討改善を行い、利用しやすいよう内容の充実に努めましたが、今後とも皆様のご意見指導をいただき、より一層充実した内容にしていきたいと存じます。

終わりに、本書の刊行にあたり、貴重な資料を提供していただきました関係者の方々に対しまして、心からお礼を申し上げますとともに、今後一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成25年3月

うるま市長 島袋俊夫

沿革

本市は、旧具志川市、旧石川市、旧勝連町、旧与那城町の個性豊かな 4 市町が合併して生まれたまちです。

旧具志川市は、約 4,000 年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつて砂糖キビの生産が沖縄一を誇っていました。戦後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

旧石川市は、琉球王朝時代の寛文 6 年（1666 年）以前は、現在の沖縄市を中心とする越來間切に含まれる農村集落でした。その後、越來間切から分割された美里間切に含まれ、明治 41 年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続きました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米軍により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

旧勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609 年の喜安日記に初めて「勝連」の二字が記されています。12～13 世紀の築城とされる勝連城は、阿麻和利の乱で落城する 1458 年まで栄えました。「おもろさうし」には、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成 12 年に世界遺産に登録されました。

旧与那城町は、約 2,500 年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、その歴史は古く、17 世紀中頃以前には勝連間切に属していました。その後、西原間切として勝連間切から分離・独立され、尚寧王（しょうねいおう）の父親にあたる与那城王子尚懿（しょうい）が拝領地として授かったと記されています。さらに、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、海中道路（1972 年）や伊計大橋（1982 年）、浜比嘉大橋（1997 年）の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

4 市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いていました。また、海に面し恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において一体的な日常生活圏を構築していました。そして、平成 16 年 9 月の 4 市町の議会において、廃置分合をはじめとする合併関連議案が可決され、同年 10 月、沖縄県知事への合併申請後、**平成 17 年 4 月 1 日**に「うるま市」が誕生しました。

資料：企画課「うるま市総合計画後期基本計画」

利用される方へ

- (1) 本書は主として平成22年度及び平成23年を中心に編集してあるが、紙面のゆるす限り、その他の年(年度)の資料も収録してある。
- (2) 統計表に特別な表示、注釈のない限り「うるま市」を範囲としている。
- (3) 統計表中、「旧具志川市」、「旧石川市」、「旧与那城町」および「旧勝連町」については、それぞれ「具志川地区」、「石川地区」、「与那城地区」および「勝連地区」と表示する。
- (4) 統計表中、合併以前の4地区の合計値等は「うるま市」と表示する。
- (5) 調査の時期については、原則として各表の右上に揚げてあるが、表中に「年次」とあるのは、暦年(1月～12月)、「年度」とあるのは、会計年度(4月～翌年3月)を示している。
- (6) 数字の単位は、各表の右上に揚げてあるが、一見して明らかなものは省略してある。また、単位未満は四捨五入を原則としているので、総数と内訳の合計が一致しない場合もある。
- (7) 資料は、各指定統計のほかに、官公庁、団体及び市役所各部署よりご提供いただいたもので、その出所については各表の右下に揚げてある。
- (8) 統計表中の数値がすでに刊行された統計資料の数値と異なる場合は、本書の編集時に訂正したものである。
- (9) 統計表中、符号の用法は次のとおりである。

「0」・・・単位未満、四捨五入した結果0になったもの

「-」・・・該当数字なし

「…」・・・不詳、不明、算出不能

「X」・・・該当数字はあるが秘密保護のため公表をさし控えたもの

「△」または「▲」・・・負の数又は減少

統計書からみた 市民の暮らし



①世帯人数

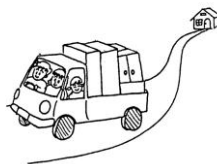
(平成24年12月末)



1世帯に2.6人

②転入

(H23. 1~12月)



1日に13.2人

③転出

(H23. 1~12月)



1日に12.7人

④出生

(H23. 1~12月)



1日に3.7人

⑤死亡

(H23. 1~12月)



1日に2.5人

⑥結婚

(H23. 1~12月)



1日に1.9組

⑦離婚

(H23. 1~12月)



1日に0.9組

⑧火災

(H22. 1~12月)



10.4日に1件

⑨救急搬送人数

(H22. 1~12月)



1日に13.7人

⑩自動車数

(H24. 4. 1現在)



1世帯に1.9台

⑪市議会議員

(平成23年12月末)



市民3,623人に1人

⑫市職員

(平成23年12月末)



市民134人に1人

⑬市税

(平成22年度)



市民1人当たり
78,299円

⑭市の予算

(平成22年度 一般会計)



市民1人当たり
388,557円

⑮人口密度

(平成24年12月末)



1Km²に1,394人

統計表目次

1. 土地・気象

(1)	位 置	1
(2)	面積および広ぼう	1
(3)	地 勢	2
(4)	河 川	2
(5)	大字別地目別の土地面積および筆数(平成24年)	3
(6)	農地の動向	7
(7)	基地の施設別面積	8
(8)	軍用地の返還状況	9
(9)	沖縄の気象(那覇)	11
(10)	月別平均気温(那覇)	13
(11)	月別平均湿度(那覇)	13
(12)	月別降水量(那覇)	14
(13)	台風の発生数と沖縄県への接近数	14

2. 人口・労働力

(1)	人口動態	15
(2)	住民登録人口の推移	16
(3)	行政区別住民登録人口及び人口比重	18
(4)	国籍別外国人登録者人口	20
◆「国勢調査」(5)表～(21)表◆		
(5)	国勢調査人口及び世帯数の推移	21
(6)	県内各市の人口(平成22年国勢調査)	22
(7)	人口集中地区の人口、面積および人口密度の推移	23
(8)	人口集中地区の人口等、前回調査との比較(市町村別)	23
(9)	年齢階級別人口の推移	24
(10)	年齢構成指数	24
(11)	夜間人口と昼間人口	25
(12)	15歳以上の就業者・通学者	25
(13)	15歳以上就業者および通学者の流動人口	25
(14)	年齢(5歳階級)、男女別人口	26
(15)	男女別15歳以上労働力人口の推移	28
(16)	年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口の労働力状態	29
(17)	沖縄県全市労働力状態・15歳以上人口	32
(18)	産業(大分類)別、15歳以上就業者数(地区別)	32
(19)	産業(大分類)別、15歳以上就業者数の推移	33
(20)	従業上の地位、男女別15歳以上就業者数の推移	34
(21)	産業(大分類)別、従業上の地位(5区分)、男女別15歳以上就業者数	35

3. 事業所・商工業

◆「経済センサス基礎調査」(1表～10表)◆

(1)	市別民営事業所数及び男女別従業者数	37
(2)	市別産業(小分類)別、民営事業所数及び従業者数	38
(3)	産業(大分類)別、民営事業所数及び従業者数の推移	39
(4)	従業者規模別の民営事業所数及び従業者数と構成比の推移	40
(5)	産業(大分類)別、従業者規模別事業所数及び従業者数	41
(6)	市別経営組織別の事業所数および従業者数	42
(7)	産業(大分類)別、経営組織別の事業所数および従業者数	43
(8)	産業(大分類)別、事業所数および従業上の地位別、男女別従業者数	44
(9)	事業所数および従業者数の推移(民営、公営別)	45
(10)	字別事業所数および男女別従業者数	46

◆「商業統計調査」(11表～18表)◆

(11)	市別商業事業所数、従業者数および年間商品販売額(卸売・小売業)	48
(12)	商業事業所数の推移(卸売・小売業)	49
(13)	商業従業者数の推移(卸売・小売業)	49
(14)	年間商品販売額の推移	50
(15)	1事業所当たりの年間商品販売額の推移	50
(16)	従業者1人当たりの年間商品販売額の推移	50
(17)	産業(中分類)別事業者数・従業者数・年間販売額の推移	51
(18)	産業(中分類)別年間販売額・商品手持額・売場面積等	53

◆「工業統計調査」(19表～21表)◆

(19)	製造業の推移(従業者4人以上の事業所)	54
(20)	産業(中分類)別事業所数・従業者数及び製造品出荷額等	55
(21)	市別製造業の概要(従業者数4人以上の事業所)	57

4. 農業・漁業

◆「農林業センサス」(1表～6表)◆

(1)	農家数と経営耕地面積	59
(2)	行政区別専兼業別農家数(販売農家)	60
(3)	行政区別経営耕地面積規模別農家数	61
(4)	行政区別農家人口・年齢別世帯員数(販売農家)	63
(5)	行政区別農産物販売金額規模別経営体数	65
(6)	行政区別経営耕地のある経営体数と経営耕地面積	67
(7)	行政区別さとうきび生産状況(平成22/23年期)	69
(8)	さとうきび生産状況の推移	71
(9)	さとうきび作付面積の推移	72
(10)	畜産	73

◆「漁業センサス」(11表～12表)◆

(11)	漁業経営体の基本構成(平成20年11月1日現在)	74
(12)	専兼業別の個人経営体数と自営漁業のみの漁業層別漁業就業者数	75

5. 教育・文化・観光

(1)	学校施設状況(市立小学校・市立中学校)	77
(2)	学校別・園別・男女別・学年別在籍数	78
(3)	市立幼稚園園児数の推移	80
(4)	市立幼稚園の概況	80
(5)	小学校児童数の推移	81
(6)	小学校の概況	82
(7)	中学校生徒数の推移	83
(8)	中学校の概況	84
(9)	市別市立幼稚園・小学校・中学校の概況	85
(10)	高等学校生徒数の推移	86
(11)	高等学校の概況	87
(12)	中学校卒業後の状況	88
(13)	県立高等学校卒業後の状況	89
(14)	特別支援学校高等部卒業後の状況	90
(15)	市立図書館種類別蔵書構成(平成22年度)	91
(16)	市立図書館 個人貸出状況(平成22年度)	92
(17)	地区・年齢別利用者状況(平成22年度)	93
(18)	社会体育施設利用状況	95
(19)	市民芸術劇場・石川会館・きむたかホール利用状況	98
(20)	市民芸術劇場・石川会館・きむたかホール催物開催状況(平成22年度)	100
(21)	世界遺産勝連城跡休憩所来客数の推移(月別・年度別)	101
(22)	あやはし館来客数推移(月別・年度別)	102

6. 建設

(1)	道路の状況	103
(2)	道路の舗装率	103
(3)	構造別建築確認件数	104
(4)	用途別建築確認件数	105
(5)	住宅の種類等別世帯数・人員・1世帯当たり人員	106
(6)	住宅の建て方別一般世帯数・人員・1世帯当たり人員	107
(7)	住宅の建て方、住宅所有の関係別住宅に住む一般世帯数および世帯人員	108
(8)	市営住宅一覧(平成23年度)	109
(9)	都市公園の現況	110

7. 上下水道

(1)	水道の普及状況	113
(2)	用途別有収水量	114
(3)	受水量および有収水量	115
(4)	1日当たり配水量、有収水量、1人1日当たり配水量および有収水量	116
(5)	送配水管延長および栓数	117
(6)	年度別月別有収水量の推移	118
(7)	公共下水道整備状況	120
(8)	公共下水道普及状況	121

8. 社会・福祉

(1)	公立および法人立認可保育所の推移	123
(2)	公立および法人立認可保育所	124
(3)	児童手当支給状況	125
(4)	生活保護世帯の推移	126
(5)	市部別生活保護状況	126
(6)	国民年金の加入状況	127
(7)	国民年金収納状況	127
(8)	年金受給状況	128
(9)	国民健康保険加入状況	129
(10)	国民健康保険医療費の状況	130
(11)	医療給付の状況(一般分)	131
(12)	医療給付の状況(退職分)	132
(13)	国民健康保険診療の推移	133
(14)	赤い羽根共同募金、歳末助け合いおよび赤十字社資募集	134
(15)	シルバー人材センター会員の概況	135
(16)	シルバー人材センター職群別事業実績	135
(17)	シルバー人材センター公共・民間別事業実績	136
(18)	市別シルバー人材センター事業実績	136
(19)	介護保険給付人口	137
(20)	所得段階別保険料年額、所得段階別第1号被保険者数及び割合	138
(21)	介護保険料収納状況(現年度分)	138

9. 保健・衛生

(1)	医療施設数	139
(2)	生活衛生営業施設	140
(3)	予防接種の実施状況	141
(4)	死因別死亡者数(順位5位まで)	142
(5)	し尿搬入量	143
(6)	ごみ、し尿処理状況	143

10. 運輸・通信

(1)	郵便施設の状況	145
(2)	登録自動車保有台数(自家用・事業用別)	145
(3)	届出自動車保有台数	146

11. 警察・消防

(1)	道路交通事故発生件数(人身事故)	147
(2)	道路交通事故による死傷者数	148
(3)	少年犯罪の推移	149
(4)	犯罪の発生と検挙	150
(5)	原因別火災発生件数	151
(6)	月別及び種類別火災発生件数	152
(7)	事故種別救急搬送人数	153
(8)	月別救急搬送人数	154
(9)	建築同意件数	155
(10)	消防職員定数および実数	156
(11)	消防施設の整備状況	157

12. 財 政

(1)	年度別一般会計歳入決算状況	159
(2)	一般会計歳出決算状況及び市民1人あたり歳出額	160
(3)	一般会計性質別歳出決算額の推移	161
(4)	市別一般会計歳入歳出決算状況(平成21年度)	162
(5)	税目別市税調定額の推移	163
(6)	市税の状況(平成22年度)	164
(7)	市税状況の推移	165
(8)	市民1人当たり市税負担額	165
(9)	国民健康保険特別会計歳入歳出決算状況	166
(10)	年度別国民健康保険税の推移	167
(11)	年度別水道事業会計の状況(収益的収支)	168
(12)	年度別水道事業会計の状況(資本的収支)	169

13. 市 民 所 得

(1)	産業別市内純生産の推移	171
(2)	市別市内純生産の推移	171
(3)	経済活動別市内純生産	172
(4)	市別市民所得(分配)の推移	173
(5)	市別一人当たり市民所得の推移	173
(6)	市別要素別市民所得の分配	174
(7)	要素別市民所得(分配)の推移	174

14. 選 挙 ・ 市 議 会

(1)	有権者数の推移	175
(2)	投票所別有権者数	176
(3)	選挙の投票状況	178
(4)	市議会運営状況	180
(5)	各種委員会開催状況	180
(6)	年代別議会議員数	181
(7)	当選回数別議会議員数	181
(8)	職業別議会議員数	181
(9)	党派別議会議員数	181
(10)	会派別議会議員数	181
(11)	構成(うるま市議会)	182
(12)	歴代正副議長	182
(13)	歴代三役	182

付 録

(1)	うるま市自治会長(事務委託者)名簿	183
(2)	公民館等施設状況	185
(3)	市の施設	186
(4)	県の施設	189
(5)	国の施設	190
(6)	その他の施設・機関	191
	うるま市行政組織・機構図	193